

令和3年度 松戸市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

下水道事業は、公共用水域の水質保全や住民の生活環境の向上を目指し、下水道の効率的な整備・維持管理を行っております。

下水道施設整備については、未普及対策、地震対策及び浸水対策を重点的に実施しました。

未普及対策では52.60haの整備、また地震対策では収容避難所に指定されている市立小中学校5校のマンホールトイレの整備に着手しました。浸水対策としては、松戸新田地区の浸水解消を目的とした長津川雨水幹線工事に令和2年度から着手し整備を進めております。

(業務の状況)

本年度の普及率は87.81%で、前年度に比べ0.57ポイントの増加となりました。また、水洗化率は96.41%で前年度に比べ0.25ポイントの増加となりました。

有収水量は42,369,480 m^3 で、前年度に比べ382,602 m^3 の減少となり、有収率については、77.98%で、前年度に比べ2.23ポイントの減少となりました。

(経営の状況)

経営状況については、収益的収支における下水道事業収益11,468,109,189円に対し、下水道事業費用が10,808,932,090円となり、差し引き純利益は659,177,099円となりました。

また、資本的収支においては収入額5,348,844,390円に対し、支出額は8,339,083,065円となり、収支不足額2,990,238,675円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額205,306,979円、過年度分損益勘定留保資金774,413円、当年度分損益勘定留保資金2,418,207,283円、減債積立金365,950,000円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

経営の健全性を示す経常収支比率は104.31%で、前年度に比べ0.12ポイントの減少となりました。

償却資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は14.22%で、前年度に比べ3.23ポイントの増加となり、法定耐用年数を経過した管渠延長の割合を示す管渠老朽化率は9.56%で、前年度に比べ0.06ポイントの増加となりました。

2 会計

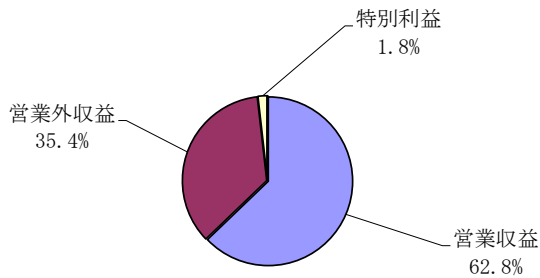
(1) 財政状況 令和3年度決算

○収益的収入及び支出 (下水道施設の維持管理などに係る経費)

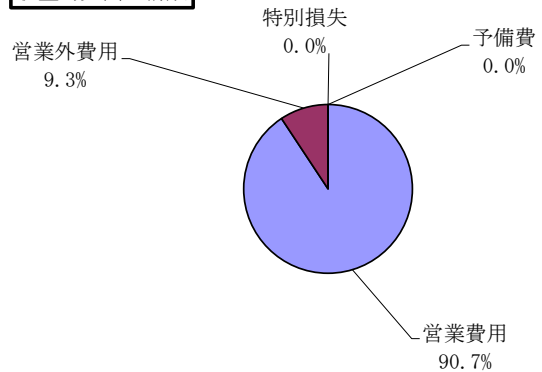
(単位：円)

	科目	説明	金額	構成比
下水道事業収益	営業収益	下水道使用料など	7,612,128,233	62.8%
	営業外収益	一般会計からの繰入金など	4,284,761,280	35.4%
	特別利益	過年度損益修正益	218,022,413	1.8%
	収入計		12,114,911,926	100.0%
下水道事業費用	営業費用	下水道管・処理場の維持管理費、減価償却費など	10,197,696,526	90.7%
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費など	1,047,461,486	9.3%
	特別損失	過年度損益修正損など	5,119,686	0.0%
	予備費	不測の支出に充てるために計上	0	0.0%
支出計		11,250,277,698	100.0%	

収益的収入の構成



収益的支出の構成

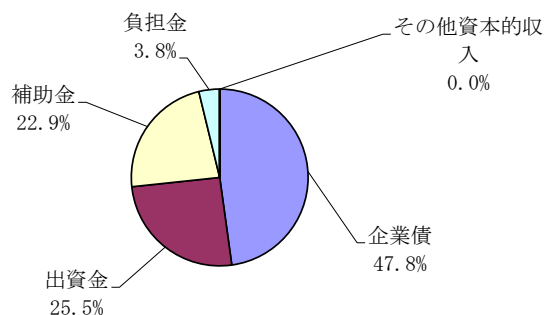


○資本的収入及び支出 (下水道施設の建設などに係る経費)

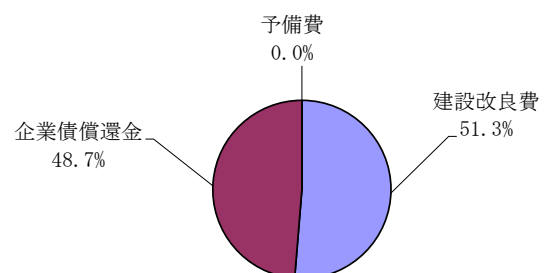
(単位：円)

	科目	説明	金額	構成比
資本的収入	企業債	企業債	2,555,000,000	47.8%
	出資金	他会計出資金	1,367,132,000	25.5%
	補助金	国からの補助金	1,223,490,650	22.9%
	負担金	下水道事業受益者負担金など	203,221,740	3.8%
	その他資本的収入	その他資本的収入	0	0.0%
収入計		5,348,844,390	100.0%	
資本的支出	建設改良費	下水道管の建設費用など	4,278,018,071	51.3%
	企業債償還金	企業債償還金	4,061,064,994	48.7%
	予備費	不測の支出に充てるために計上	0	0.0%
支出計		8,339,083,065	100.0%	

資本的収入の構成



資本的支出の構成



○企業債現在高の推移

(単位：千円)	
	未償還元金
平成29年度	54,167,097
平成30年度	51,960,210
令和元年度	49,989,750
令和2年度	48,476,388
令和3年度	46,970,323

